

提出日：平成 22年2月8日

第9回 「情報活用型授業を深める会」参加報告書

小野寺香絵（東北大学大学院情報科学研究科 技術支援スタッフ）

場所
仙台市立松陵西小学校
日程
第9回 2010年2月6日（土）13時00～16時30分
大学参加者
小野寺香絵（技術支援スタッフ）
出席者数
約20名
目的
情報活用型授業に関する現場での取り組みや最新の動向について勉強する
概要および成果
【概要】 第9回 質問力活用編＋考える力を伸ばす電子黒板活用 1. 実践研究の事例発表（東北学院大学稲垣ゼミ3年ミニ卒論発表） <ul style="list-style-type: none">・石塚桃子「小学校社会科における学校放送番組と情報活用の実践力との関連について」・結城彩佳「社会科単元内で行う学校間交流学习の研究」・吉田郁「英語ノート活用の際の教師の手立ての分析」・滝村里実「ワークショップ形式の情報モラル授業の効果の検証」 学生の発表に続いて質疑応答が行われ、その後、実践協力した教員と稲垣忠准教授よりコメントが述べられた。 2. 考える力をどう鍛えるか？ 講師：関西大学初等部開設準備委員特別任用教諭・三宅久貴子教諭 4月開校予定の関西大学初等部の概要と、「ミューズ学習」についての紹介があった。 ※「ミューズ学習」とは、総合的な学習の時間を中心に、「ものの異同を見つける（比較）」、「見えない関係を見つける（分類）」等の様々な思考技法を習得、活用するための授業のことである。 3. 電子黒板の授業アイデアを広げよう！ 2グループに分かれ、それぞれ算数と社会について、実践アイデアやこれまでの活用例を出し合った。

【成果】

三宅教諭の講義では、考える力を高めるために、授業で使用予定のオーストラリアの「Thinking tools (Y チャート・ベン図・PMI)」が紹介された。子どもの成長にあわせて、ICT に限らず、こういった様々なツールを組み合わせる授業を行うことが大切だと、改めて認識することができた。

また、稲垣ゼミによる研究発表では、どの学生の論文も、教育現場での実践的な検証のもと書かれていた。そのほとんどが、この会のメンバーである教員が授業を提供したものであった。実践協力した教員からは、「自らの授業を振り返る良いきっかけになった。」という感謝の言葉が述べられた。現場と大学との交流が、この会を通して今後も活発に行われることを期待したい。



写真 勉強会の様子